

小松市立本陣記念美術館 館蔵品展

いにしえに学ぶ

— 近現代の陶磁 —



会期:平成 27 年 1 月 20 日(火) - 3 月 22 日(日)

開館時間:午前 9 時 - 午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日:月曜日(祝日のときは開館)、祝日の翌日

入館料:一般 300 円(20 名以上の団体の場合 250 円)、高校生以下無料

※「こまつミュージアム・パス」使えます。1 週間券 500 円

小松市立本陣記念美術館



a



b



c

.....写真説明.....

表面左

「耀彩花器」(三代徳田八十吉作、昭和 60-63 年)

表面右上

「いとまき平向」(北大路魯山人作、昭和 25-30 年頃)

表面右下

「金欄手瑞鳥図飾瓶」(北出塔次郎作、昭和 37-43 年)

左 a

「赤絵遊魚文茶器」(四代三浦竹泉作、昭和中期-47 年)

左 b

「釉斑洩花瓶」(六代清水六兵衛作、昭和 37 年)

左 c

「掛分指描花瓶」(濱田庄司作、昭和 29-40 年)

小松市立本陣記念美術館は、小松市出身の本陣甚一氏より、氏が収集した美術コレクションが寄贈されたのを機に平成 2 年に開館しました。氏が亡くなった平成 20 年にはご遺族よりさらに約 700 点の作品の寄贈を受け、現在は約 950 点を数える優れたコレクションとなっています。

この度の展覧会では、全体の約 3 分の 2 を占める陶磁器の中から、近世までのやきものを基に、意匠や技術を発展させ高い芸術性を持つに至った、名工の作品 40 余点を展示します。この機会に、近現代のやきものの美を存分にお楽しみください。

展示作品の例。「黒茶盃 銘初音」(樂慶入作、安政元-明治 4 年)、「砧青瓷牡丹唐草彫花瓶」(初代加藤溪山作、昭和 39-48 年)、「絵唐津茶盃」(十三代中里太郎右衛門作、昭和 46-47 年)

ギャラリートーク：2 月 14 日(土)、3 月 14 日(土)、いずれも午前 11 時から、午後 2 時から。

アクセス・JR 北陸線小松駅より徒歩 15 分、又は市内循環バス乗車市役所前下車徒歩 1 分。

・北陸自動車道小松 I.C.より約 7 分、小松市役所周辺駐車場より徒歩 2 分。

小松市立本陣記念美術館 (小松市丸の内公園町 19 番地、芦城公園内 TEL0761-22-3384)